

古代ハス囲い 絵で華やか

県埋文センター 生光学園高生が制作



木製の囲いに絵を描く生光学園高の美術部員
―板野町犬伏の県立埋蔵文化財総合センター―

生光学園高校(徳島市)の美術部員が24日、板野町犬伏の県立埋蔵文化財総合センターで、古代ハスを栽培している水槽を保護するための木製の囲いに絵を描いた。

部員6人が参加。幅約2.5メートル、奥行き約1.5メートル、高さ約0.4メートルの囲いが12個用意され、部員はペンキで緑や黄、水色に塗ったり、チョウをイメージした模様を描いたりした。25日にはセンターと話した。(一宮愛)